

世界の 情報

World News & Information

顧問 中村重信

認知症は減っているのか、増えているのか (アメリカなど)

イギリスでは過去20年間で認知症が減っていることをお知らせしました¹⁾。最近アメリカでも認知症が減っていると報告されています²⁾。アメリカで最も信頼できるフラミンガム研究で、60歳以上の5,205名を対象にして認知症の発症率が検討されました。研究者たちは1977年～2008年までを4期に分けて、5年間の認知症の発症率を算出しました。全体で371名が認知症

を発症しましたが、年齢と性別で補正した結果、年につれて減少していました。

これに反して、福岡県久山町での研究では認知症の発症率が増えていると報告されています³⁾。日本で認知症が増えているのは糖尿病の増加によるものと考えられていますが、両者の差異についてはさらに検討する必要があります。

| | 第1期 (1977-83年) | 第2期 (1986-91年) | 第3期 (1992-98年) | 第4期 (2004-08年) |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 5年間発症率(／100人) | 3.6人 | 2.8人 | 2.2人 | 2.0人 |
| 第1期に比べて | | 22%減 | 38%減 | 44%減 |

1) ぼーれぼーれ, 398:2, 2013

2) Satizabal CLB NEng JMed 374:523, 2016

3) Honda H5 Neuropathology, 2016

参考 65歳以上の有病率

| 年 | 1985年 | 1992年 | 1998年 | 2005年 | 2012年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 有病率 | 6.7% | 5.7% | 7.1% | 12.5% | 17.9% |

「わが国における高齢者認知症の実態と対策：久山町研究」九州大学大学院 清原 裕 (2014. 10. 29)